



落六小研究便り

令和4年11月8日

NO. 13

① 今年度5回目の研究授業ありがとうございました！

本日、今年度5回目の校内研究授業を行いました。高学年ブロックの先生方、授業して下さいました。身近なテーマから広げていく題材設定、学びのつながりや工夫が分かりやすい資料など、次年度の発表を見据えた提案をしていただきました。今後の研究を進めていく上での方向を示していただくような提案だったと思います。ありがとうございます。



当日のオーダーシートと併せて、3年生の先生方がとってくださった記録、北中先生にいただいたプレゼンデータを以下の場所に入れておきます。併せてご覧ください。「01 校務」→「07 研究」→「令和4年」→「研究授業」→「5年授業（1108）」

② 講師の先生のお話

協議会后、校長室でのお話を共有させていただきます。

● 授業改善について

Q 本日資料で提案している内容をコンバインとして定義していくというお話を詳しく教えて下さい。現状だとほぼ社会科の授業なのですが・・・。

A 先ほど話したことは、この資料はコンバインとして改善していけそうだということです。現在はよくやられている産地調べから始めていますが、導入を変えてみてもよいと思います。また、展開を広げるだけでなく、調べていない内容も全員に担保してあげる必要があります。ICT等を使うことも有効かもしれません。昔、ジグソー方なども流行りました。あれも3グループぐらいに分かれるのですが、まとめは収束し共有する活動でした。

また、展開をもっと広げるような改善も考えられます。「様々な人とICTでつながる」、「成果を離れた人に発信する」など、追求をダイナミックにする必要があるかと思います。それはまとめでなくても、活動の途中でもよいです。社会科の内容だけど、普通の社会科ではできないようなことまで展開していくことができるとよいですね。社会科では「行動・参画」までは求めていないと思うので、「みらい科」が提案する「実践力」に踏み込んで学びにしていけるとよいです。

導入で子どもに委ねることはイチかバチかになるので大変です。ある程度先生が

抑えつつ自由度をどうもたせるかが難しいところです。今回まずは実践できているので、次年度改善していけると、発表できる実践になると思います。最終的に誰に対して発表するかという点も大切かと思います。思い切って他校の5年生に発表するなどもありかもしれません。ちょっと極端かもしれませんが、「ふりきった研究」にするには、そのようなこともありかと思います。

コンバイン型授業を1学期に1本やっていくのは可能でしょうか？もちろん公開はなくてよいです。子どもに経験を積ませておくという意味でも大切かと思います。今年度のうちに単元をつくっておくことも大事でしょう。

●1月授業について

Q1月17日（火）に4年生研究授業を行います。4年生は「染めに学ぶ」というテーマで考えています。「東京の伝統工芸」などもコンバインしつつ、「染の小道に出店する」というゴールで取り組んでいます。

Aゴールがはっきりしていますし、一番ダイナミックに展開していますね。現段階での予想ですが、かなり総合に偏る活動になるかと思います。いかに社会科要素を広げていくかがポイントになるかと思います。「伝統工芸によって地域の活性化に広がっていく」ということが分かる内容になるとよいですね。このテーマは人材は豊富です。心配なのは、1月の活動までに2か月ほど間が空くことです。その意図と効果をはっきり言えるのであればそれでも良いかもしれませんが、次年度のスケジュールとあわせてつくっていけるとよいと思います。

Q国語科とのコンバインも可能かと思うのですが・・・

A国語科とのコンバインとなると、「書くこと・読むこと」などに「探究的な学び」を組み合わせていくのかと思うのですが、どんな活動になるか想像しにくいですよ。コンバインできるかどうかをよく検討した方がよいと思います。社会科の方が主張は立てやすいかと思います。題材は抜群に面白いので是非この題材で進めて欲しいです。

Q国際交流との題材とコンバインするのもありでしょうか。

Aありですね。そのように柔軟に考えていくことが大事です。もしそうなるなら人材も紹介できますよ。

③ 次回研究全体会について

12月9日（金）・22日（木）に2回研究全体会が行われます。

今後は、研究授業だけでなく、発表に向けても考えていく必要があります。

「みらい科」「研推」などのくくりではなく、みなさんの得意分野をいかして全員で乗り越えていくことになりそうです。詳しくは今後研推で相談し提案していきたいと思いますが、今後宿題を出すことも増えるかと思います。大変かとは思いますが次年度に向けご協力よろしくお願ひします。

